

基町中層アパート跡地に広島サッカー場検討私案

広島市長他のトップ会談で、広島サッカー場の建設を広島市の中央公園芝生広場に決定したが、多くの課題を残している。個人的にはサッカー場は不適と判断しており、それに代わる地として基町中層アパート跡地を提案する。

ただし、この地が最適とは思わない。基町高層アパートが将来解体され、中央公園に組み込まれて緑に囲まれた環境になれば、望ましいサッカー場に近づくものと思う。

中央公園芝生広場が不適な理由、

- ① 南北の幅が狭く、サッカー場を配置するには無理がある。
- ② 敷地の南と東側に幹線道路が走っており、今のままでは交通渋滞を起こす。
- ③ 敷地北側の住居地域に日照・騒音・眺望景観・治安の不安などの悪影響を与える。
- ④ 平和記念都市としてより付加価値の高い活用策がある。



- 1: 前庭 2: 後庭 3: 駐車場 4: グラウンド
5: 観客スタンド

基町中層アパート跡地のサッカー場配置図私案

基町中層アパート跡地にサッカー場を建設するための前提条件

- ① 基町高層アパートの西側エリアの用途地域を住居専用地域から商業地域へ変更する。
- ② それに伴い、西側高層アパートは事務所、店舗、宿泊施設などに順次用途変更する。
- ③ サッカー場と隣接する高層アパート西側エリアの一体的な整備を可能とする。
- ④ 2045年の時点で、高層アパート建物の使命が終わってれば、解体し、中央公園に戻す。

サッカー場の設計方針

- ① 観客のアプローチは川沿いの土手道（ポップラ通り）とし、水辺の空間と一体的な整備を図る。
- ② ポップラ通りからプロムナードによりサッカー場のコンコースにつなぐ。コンコースは日中は解放され、売店、レストラン、トイレ、休憩コーナー、体育教室などを設け、日常的に利用される。
- ③ 隣接する高層建物が遮音壁となる。観客スタンドには必要なら仮設用の大屋根を設ける。
- ④ コンコースはマツダスタジアムを参考にする。
- ⑤ 敷地の形状に合ったプランニングを行い、無駄な構造は省き、経済設計に努める。目標は100億円程度。観客席は3万人程度。
- ⑥ サンプルのためではなく市民のための施設を目指す。

中央公園芝生広場検討案との比較

- ① 幹線道路から離れ、観客などのアクセスが川沿いの道となるため、交通渋滞・日照・騒音・眺望景観・治安の不安などの地域住民に与える影響が少なくなる。
- ② 市民に開かれたプランが可能であり、スタンドを分割することにより建物のボリューム感を軽減できる。高低差を利用した平面計画と無駄な構造を排したローコスト設計が可能。
- ③ 基町河岸緑地に面しているのので川の駅などと一体整備が可能であり、多目的な利用がなされ、にぎわいの拠点となりうる。JRの横川駅と新白島駅からのアクセスが良くなる。
- ④ 基町高層アパートの未来を見据えた計画が可能である。

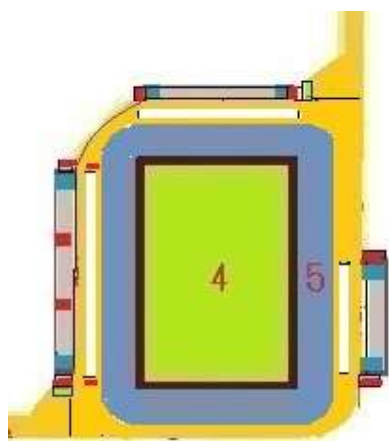


1階平面図

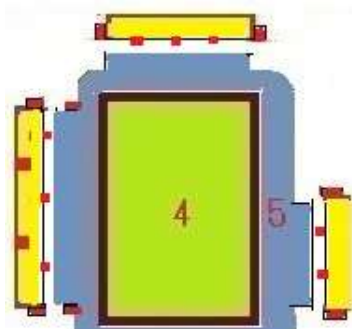


2階平面図

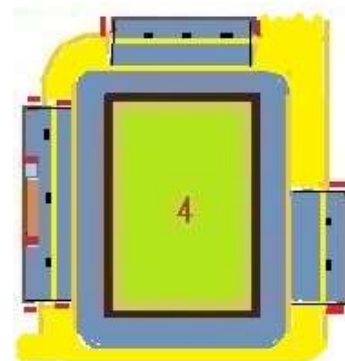
■ 階段・EV	■ ホール・通路
■ 便所・水回り	■ 必要諸室



3階平面図 (コンコース)



4階平面図



スタンド平面図

イメージ写真（広島マツダスタジアム）



プロムナード



上空より

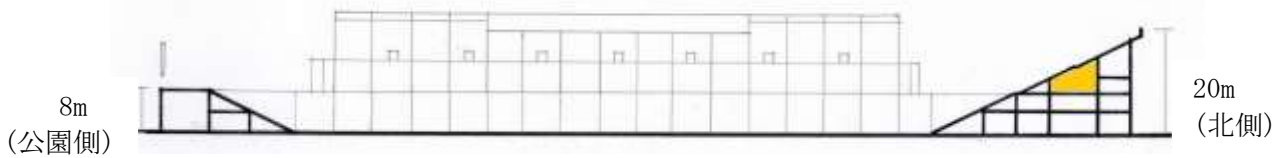


コンコース

断面図



東西軸断面図



南北軸断面図

イメージスケッチ



おわりに

市は基町市営中層住宅17号棟（高層アパート側）を建て替えると言う。ということは高層アパートも公営住宅として将来ともずっと使用し続ける意向のようだ。

今回のサッカー場の芝生広場建設決定にあたり、地域住民への説得材料として基町住宅の活性化と若年層の入居対策の予算を充当するという。都心の一等地に公営住宅を残すべきか否かの議論が必要である。原爆スラムを一掃するための代替えとして整備された高層アパートもその役割を終え、寿命が来れば、元の中央公園計画に戻すべきではないか。

その展望なしにサッカー場を芝生広場に決定したことは場当たりのと言える。高層アパートが公園に戻った時に不都合のない計画を選択すべきであろう。